

「飯谷町住民説明会」（第3回）質疑要旨

日時：平成29年2月9日（木） 19:05～21:10

場所：神谷院（徳島市飯谷町宮ヶ谷）

出席者：市民23人、徳島市4人

質疑応答の概要は次のとおり。

Q.	空気に対するデータについては良い数字が出ているが、排水に関するデータが出ていない。水質汚濁等の調査についてはどうするのか。
A.	新施設では、プラントから出る水は排水しない予定です。ただ、通常の手洗い水等は、場合によっては排水処理後に排水する可能性はあります。この辺りも含めて、全て施設内での再利用が可能なのか検討していく必要があります。
Q.	収集車の洗車の水も含めれば、かなりの量になると思うが。
A.	極力施設外に排水しないよう考えています。特にプラント内部の水は、再利用する形で進めます。
Q.	施設に降った雨はどうするか。
A.	側溝等を通じて、排水することになります。
Q.	敷地内に灰や何らかの物質が落ちると思うが、環境面は大丈夫か。
A.	煙突からの排気ガスは処理されているため、環境基準を超える物質が堆積することはありません。
Q.	施設内の水は排水しない、生活排水は排水処理後に放流するということが良いか。
A.	そのように考えています。
Q.	再処理、再利用していくうちに水が汚れてくると思うが。
A.	最後は焼却炉内に噴霧し蒸散させ、気化後にバグフィルタ等で浄化されます。
Q.	東部環境事業所から白い煙が出ていると思うが、粉じんは出ないのか。
A.	白い煙のように見えているものは水蒸気です。
Q.	人間の目に見えないからと言って、被害が無いとは言えないと思うがどうか。
A.	基本的には資料 p.6,7 の数値であり、0にはなりません。法規制値を大幅に下回るレベルで排出します。
Q.	この数値は、市が公表している数値だが、市の内部で検査した数値か。
A.	第三者である業者に委託し、検査した数値を公表しています。
Q.	臭いについては、どの項目が該当するのか。
A.	今回の説明資料には、直接臭いに対応するものではありません。法で定められた検査項目を載せています。

Q.	気候によって変わるのではないかと。時期によって臭いがするが。
A.	毎年、東西環境事業所で調査報告を行っていますが、出席者から臭いについての意見は特に聞いていません。
Q.	東西環境事業所の周辺住民の意見を聞いたことはあるか。
A.	毎年、定期的な報告会を行っています。煙突からの臭いについての苦情は今年もありませんでした。
Q.	検査日は、事前に連絡してから行われるのか。連絡してから行うのであれば、値が操作されるのではないかと。検査の立会いや、抜き打ち検査は行えるのか。
A.	職員は検査日を意識して日常業務は行いません。検査日であっても通常通りの業務を心掛けていると聞いています。検査の立会いについては、安全に配慮しながら行えるか慎重に検討します。
Q.	民間施設で処理しているものと、東西環境事業所で処理しているごみの種類は同じなのか。
A.	<p>ごみ処理業の許可には、一般廃棄物処理業と産業廃棄物処理業の2種類があります。当該民間施設は両方の許可を持っており、一般廃棄物も産業廃棄物も搬入されます。</p> <p>東西環境事業所は、一般廃棄物を処理しています。今回建設を予定している施設も、一般廃棄物の処理施設です。</p>
Q.	新たな施設の煙突の高さはどれくらいになるのか。
A.	敷地や施設の配置、山の高さ等から検討することになります。後に行う環境影響評価も含め考えていきます。
Q.	仮に工事が行われた際の工事用車両や、現場作業員の車両については想定しているか。
A.	竣工後の収集運搬車両や工事中の車両については、何らかの対策を行わなければならないと考えています。
Q.	市の説明では、なぜ飯谷町が最有力候補地となったのかが分からない。選定した基準を教えてください。
A.	<p>始めに市内全域を抽出の対象としました。立地規制の係る地域の排除、施設立地が望ましくない地域の排除後、残った地域の中で実際建物が建てられるかどうか、公園になっていないか等を検証し、その結果徳島市内で6箇所の候補地を抽出しました。</p> <p>その6箇所について「安全・安心の確保の視点」「環境の配慮の視点」「計画的な財政運営の視点」といった評価項目を定めて評価し、徳島市域における一番望ましいとする場所が飯谷町となりました。</p> <p>その後、小松島市から提案された候補地と、飯谷町で同様の評価を行った結果、飯谷町が優位であったため、飯谷町が最有力候補地となりました。</p>

Q.	なぜ他の候補地の名前が出てこないのか。飯谷町だけ名前が出るのはおかしいのではないか。
A.	まずは最有力候補地である飯谷町で十分な説明をさせていただきたいと考えています。 現時点で他の候補地を公表すれば押し付け合いとなり、事業が滞ってしまいます。同意をいただいた際には、経緯は明らかにします。
Q.	飯谷町で同意をもらえなければ、すぐに次の候補地を検討するのか。
A.	飯谷町でお願いできるよう努めます。
Q.	今回の候補地は山を切り崩しているが、切り崩す前の山の稜線が、かつては多家良町と飯谷町との境界であった。今回の候補地の一部は、多家良町のエリアには該当しないのか。
A.	あくまで公図上の話ですが、飯谷町枇杷ノ久保で収まるものと考えています。今後の設計の中で決めていくものであるため、具体的な線引きはこれからです。
Q.	建設地は飯谷町だが、煙が拡散することにより、多家良地区全域に影響が及ぶと考えている。おおまかで構わないが、どこまで理解を求めるべきと考えているのか。
A.	多家良地区全域が対象になると考えています。
Q.	運営形態はどのように考えているのか。
A.	他市町と協議中であり、まだ合意に至っていません。
Q.	ダイオキシン発生抑制のためには、温度を高温で保たなければならず、そうなるごみを燃やし続けなければならない。大規模施設を建設することで、ごみの分別がいい加減になったり、ごみの減量化と逆行することにならないか。
A.	各市町がごみの削減に努め、施設完成年度を見越した削減予測を立て、それに見合う規模の焼却施設を整備します。ごみ量を上回る施設は無駄なことから、必要最小限の規模とします。 また、ごみの減量が進んでも、安定した処理ができるよう検討します。
Q.	12月の飯谷公民館での説明会で、車の台数は延べ400台程度と聞いたが、資料には各市町が保有している台数のみの掲載となっている。現状はどうか。
A.	平成27年度の直近データでは、日量延べ379台となっています。
Q.	用地について新聞では10ヘクタールとなっていたが、その広さで十分なのか、買い足す必要はないのか。
A.	現時点では分かりません。
Q.	飯谷町に新たなごみ処理施設が建設されると、隣接する民間施設はどうなるのか。一緒に操業するのか。
A.	未協議であるため、どうなるかは分かりません。

Q.	現在、論田町にし尿処理施設があると思うが、し尿処理施設も飯谷町に建設するのか。
A.	し尿処理施設を建設することはありません。
Q.	焼却後の灰等については、どのように処理する計画か。飯谷町で保管するのか。
A.	松茂町にある最終処分場で埋立処理を行っています。
Q.	最終処分場は、数年で埋立が終了すると聞いたことがあるがどうなのか。
A.	当初は、開設から10年で終了すると聞いていましたが、ごみの減量化が進んだことで、現在はまだ余裕がある状態となっています。
Q.	地元の了解を得る前に、環境影響評価は出来ないのか。
A.	環境影響評価は足掛け3年ぐらい掛かる内容であり、候補地が決まらない状態では進められません。
Q.	用地の測量等を具体的にしなくても、写真を基に地形を立体図面に起こして、シミュレーションをすれば、3年も掛けずに概要把握を出来るのではないのか。
A.	国の交付金を活用して進めることや、県条例に沿って進めることなどから、事前に環境影響評価を行うことは難しいです。
Q.	環境影響評価とは何をするのか。
A.	環境影響評価とは、季節ごとに風向・風速等の現地の状況を調査測定することで、施設が建設された場合に、どういった影響が予測されるかを調べます。
Q.	環境影響評価の結果が、望ましくないと出たらどうなるか。
A.	建物の配置等について再検証を行い、設計に反映させます。
Q.	今後、地元に対してどのような説明をしてもらえるのか。これだけではどのような施設ができるかわからない。
A.	今回はご挨拶を兼ねた説明会資料として準備をしています。今後の説明会の際には、それぞれのステップに応じた、より具体的な資料を準備したいと思います。
Q.	その際には用地選定過程についても説明をもらえるのか。
A.	候補地の選定経緯については、地元住民の同意をいただいた後に公開したいと考えています。
Q.	飯谷町の住民が賛成しないと建設されないということで良いか。
A.	同意を得る必要があると考えています。
Q.	本当の地元となると本村地区、沖野地区、それと多家良町辺りになると思うが。
A.	距離が近いところは当然大切だと思っていますが、飯谷町や多家良町全域、果ては多家良地区全域にご理解をいただきたいと考えています。
Q.	風評被害については、どう考えているか。例えば野菜やみかんが売れにくくなるということに対して、事前に策はあるのか。
A.	西部環境事業所の周辺には耕作地が広がっていますが、地元住民から風評被害の

	声は出ていません。我々も風評被害が出ないように十分な説明をしていきます。
Q.	熱回収施設とあるが、その目的は何か。
A.	環境負荷の軽減です。ごみを燃やして得られる熱源で発電することによって、広い視野で見ると、発電所の負荷を抑えることが出来ます。
Q.	発電された電力は、電力会社に売却するのか。
A.	施設の稼働に利用します。余った電力については電力会社への売電を考えています。
Q.	発電された電力は、地元還元されないのか。
A.	地元の要望により、温水等の熱源を利用した施設を設けている例はあります。
Q.	飯谷の町民は、毎日県道を通らないと仕事に出られない。何台くらいの通行量があるか把握しているのか。
A.	平成 22 年の交通量センサスの台数でしか把握していません。
Q.	県道の通行台数が増えるとなると、容易に賛成はできない。その辺りの調査データは出してもらえるのか。
A.	環境影響評価の前に、現状の調査と把握に努め対策を考えます。
Q.	ごみ収集車が落とすごみ汁等の問題があると思うが、徳島市では問題になっていないのか。
A.	夏場になれば、苦情はあります。
Q.	改善のための工夫は考えているのか。
A.	車両そのもので対応するなど考えられますが、引き続き検討します。
意見	高齢者が増え、世帯数も減っている中、飯谷町の将来を支えていくために、応援するような体制を取ってほしい。
意見	現在の状態で、なぜ飯谷町が選ばれたのかという点がはっきりしていない以上、賛成も反対も言えない。
意見	通行車両に関して、小松島、阿南方面への抜け道となって、月 1、2 回は事故も起こっている、そのような犠牲を払っていることを理解いただき、調査をしてほしい。

以 上